

# 政策シート

(政策名) 効率的な道路・河川管理  
(予算費目名) 道路保全費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

## ◆基本政策 安全な生活基盤づくり

### ◇政策の概要

安全で安心して生活できるよう道路や河川が適正に管理され、災害のない都市を実現する。

### ◇関連するSDGsのゴール

⑨イノベーション	⑪都市	⑬気候変動							
----------	-----	-------	--	--	--	--	--	--	--

### ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	13,769,781	13,199,334				
決算	12,956,557					
人件費(A)	246,000	241,240				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	13,202,557	13,440,574				

### ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
緊急輸送路上の橋長15m以上の橋梁の耐震化率	%	目標	60.9	62.1	62.7	64.0	66.5	70.8
		実績	60.9					
道路区域線整備延長	km	目標	7,090	7,090	7,090	7,090	7,090	7,090
		実績	6995					
道路里親実施延長	m	目標	93,000	93000	93000	93000	93000	94000
		実績	91233					

### ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

安全で安心して生活できるよう道路や河川が適正に管理され、災害のない都市を実現する。

### ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

政策指標で示している緊急輸送路上の橋長15m以上の橋梁の耐震化数及び道路区域線整備延長、道路里親実施延長の目標値に対する実績値から概ね計画通りに進捗していると評価する。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	道路施設管理事業					1,100,249	1,058,949	5.9			
2	道路管理事業			○		430,317	320,017	13.7	2.6		1.8
3	道路維持修繕事業	○	○	○		10,611,071	10,582,371	4.1			
4	道路防災事業	○	○	○		775,400	767,000	1.2			
5	橋りょう耐震補強事業	○	○	○		212,600	203,500	1.3			
6	道路維持推進事業										
7	過疎対策道路修繕事業					186,010	186,010				
8	自転車等対策事業			○		64,076	60,576	0.5			
9	地籍調査事業			○		34,833	14,533	2.1			2.0
10	道路保全運営経費(一般諸経費のみ)					26,018	6,378	2.6	0.4		
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						13,440,574	13,199,334	31.4	3.0		3.8

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 道路施設管理事業

### ◇事業目的・事業対象

道路や道路付属物、地下道等、道路施設の管理を行い、安全で安心な通行を確保する。

### ◇事業の概要

道路、地下道、トンネル等の道路施設の管理を行い、通行の安全性、快適性を確保する。

- ・JR浜松駅前広場等維持管理事業  
浜松駅前北口・南口広場等、浜松駅周辺公共施設の維持管理
- ・道路施設維持管理事業  
道路施設の維持管理(照明灯電気料、電気及び防災に係る設備保守点検、清掃業務)
- ・道路情報システム維持管理事業  
道路情報板の維持管理及び市民への道路情報の提供
- ・街路樹維持管理事業  
街路樹の維持管理及び街路樹愛護活動の支援・普及啓発

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S57	-	一般会計	法定受託事務	道路法	-	-	-

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,036,074	1,058,949				
	決算	1,032,027					
	国・県支出	4,016	4,452				
	市債						
	その他	1,754	1,653				
	一般財源 一般会計繰入金	1,026,257	1,052,844				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		26,600	41,300				
人工	正規	3.8	5.9				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.2,11.3,11.7,11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

安全・安心な道路施設の管理をすることで、持続可能な都市を実現する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

道路、地下道、トンネル等の道路施設の管理を行い、通行の安全性、快適性の確保を図った。

- ・JR浜松駅前広場等維持管理事業  
浜松駅前北口・南口広場等、浜松駅周辺公共施設の維持管理
- ・道路施設維持管理事業[決算324,761千円(うち前年度繰越6,437千円)]  
道路施設の維持管理(照明灯電気料、電気及び防災に係る設備保守点検、清掃業務)
- ・道路情報システム維持管理事業  
道路情報板の維持管理及び市民への道路情報の提供
- ・街路樹維持管理事業  
街路樹の維持管理及び街路樹愛護活動の支援・普及啓発

・事業の成果と課題

指標の達成度

道路、地下道、トンネル等の道路施設の管理を行い、通行の安全性、快適性を確保している。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

道路利用者の安全で安心な通行のため現状確保が必要である。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

引き続き、道路や道路付属物、地下道等、道路施設の管理を行い、安全で安心な通行の確保に努める。

令和2年度

(管理番号)  
03 04 01 01 002320000 02

(担当課)  
道路保全課

(責任者)  
池谷 一弘

(基準日)  
令和 2 年 7 月 1 日

# 事業シート (事業名) 道路管理事業

## ◇事業目的・事業対象

安全で安心して生活できるよう、道路法令に基づき適正に管理する。

## ◇事業の概要

- 【法定受託】特殊車両通行許可申請に伴う審査事務を行う。
- 【法定受託】占用許可物件の登録・更新や占用料の納付状況の管理を行う。
- 【法定受託】認定・廃止・変更、道路区域の決定・供用開始等の手続きを行う。
- 【法定受託】公共用財産である道路等を適切に管理するための境界確定業務を行う。
- 【自治事務】異常気象等において(公財)日本道路交通情報センターへの通行規制情報を提供する。
- 【自治事務】道路等の設置又は管理瑕疵に起因する事故が発生した際の示談交渉及び賠償金支払いに関する業務を行う。
- 【自治事務】各土木整備事務所を通して道路里親事業の啓発を図り、実施延長を延ばす。
- 【法定受託】前年度に実施した道路工事に伴う道路台帳の経年変化修正業務を実施する。
- 【自治事務】合併に伴う道路台帳整備水準の平準化を行う。
- 【法定受託】開発行為等に伴う協議及び審査事務を行う。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S27	-	一般会計	法定受託事務 自治事務(法令義務)	道路法	-	-	○

## ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	297,372	320,017				
	決算	266,000					
	国・県支出						
	市債						
	その他	2,004	1,043				
	一般財源	263,996	318,974				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		102,400	110,300				
人工	正規	12.8	13.7				
	再任用(h31)	2.0	2.6				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	1.8				

## ◇SDGsとの関連

### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.2,11.3,11.7,11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

### ・事業とゴールの関連性

・安全・安心かつ適切に道路を管理することで、持続可能な都市を実現する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
道路里親実施延長(m)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	93000	93000	93000	93000	93000	93000	94000
実績値	89133	91022					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
道路区域線図整備延長(km)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	7090	7090	7090	7090	7090	7090	7090
実績値	6985	6995					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【法定受託】特殊車両通行許可申請に伴う審査事務を行った。  
 【法定受託】占用許可物件の登録・更新や占用料の納付状況の管理を行った。  
 【法定受託】認定・廃止・変更、道路区域の決定・供用開始等の手続きを行った。  
 【法定受託】公共用財産である道路等を適切に管理するための境界確定業務を行った。  
 【自治事務】異常気象等において(公財)日本道路交通情報センターへの通行規制情報を提供した。  
 【自治事務】道路等の設置又は管理瑕疵に起因する事故が発生した際の賠償金支払いに関する業務を行った。  
 【自治事務】各土木整備事務所を通して道路里親事業の啓発を図り、実施延長を伸ばした。  
 【法定受託】前年度に実施した道路工事に伴う道路台帳の経年変化修正業務を実施した。  
 【自治事務】合併に伴う道路台帳整備水準の平準化を行った。  
 【法定受託】開発行為等に伴う協議及び審査事務を行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・道路里親団体の活動規模の縮小などにより目標を1、978m下回った。
- ・道路区域線図はほぼ目標どおり整備を行なった。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・8月10日の「道の日」に道路里親加入を促す啓発グッズをイオン志都呂店で配布するとともにパネル展示により事業説明を図った。
- ・道路里親事業(アダプトプログラム)のリーフレットを再編し、啓発を強化した。
- ・道路管理瑕疵に伴う示談交渉、開発行為等に伴う協議及び審査について、統一的に判断を行えるように各土木整備事務所から道路保全課に引き上げた。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・引き続き道路里親の加入促進をし、実施延長を延ばす。
- ・道路台帳整備水準の平準化を図るため道路区域線図の整備を進めていく。
- ・津波浸水区域からの工場移転や現東名のSICの供用に伴い、開発行為等の申請案件が増加するとともに、市街化区域の傾斜地等における案件が増加してくる。

## 事業シート (事業名) 道路維持修繕事業

### ◇事業目的・事業対象

道路を常時良好な状態に保つよう維持管理を行い、一般交通に支障を及ぼさないよう努める。  
 橋梁、トンネル等の主要な道路施設については、長寿命化計画に基づき、メンテナンスサイクル(点検⇒診断⇒措置⇒記録)を確実に回し継続的に発展させることによって、道路利用者の安全・安心の確保、維持管理コストの平準化及び縮減を図る。

### ◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.148,155】

- 国交付金事業(国土交通省所管の交付金事業及び補助事業として施行している道路維持修繕事業)
  - ・長寿命化計画(橋梁、トンネル、シェッド・大型カルバート、舗装)に基づき、点検、修繕を実施する。
- 市単独事業(市単独事業として施行している道路維持修繕事業)
  - ・長寿命化計画(橋梁、トンネル、シェッド・大型カルバート)に基づき、修繕設計、補修を実施する。
  - ・道路パトロール、地元要望等において、道路施設の補修、修繕を実施する。
    - >道路の日常的な維持管理(道路パト、小破、舗装、清掃、除草)
    - >小規模要望、中規模要望対応

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S27	—	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第42条	○	○	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	10,533,775	10,582,371				
	決算	9,409,675					
	国・県支出	2,492,281	3,571,955				
	市債	1,277,500	1,974,800				
	その他	7,942	130,000				
	一般財源 一般会計繰入金	5,631,952	4,905,616				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		23,800	28,700				
人工	正規	3.4	4.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.2,11.3,11.7,11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

### ・事業とゴールの関連性

- ・道路の質を高めることで、持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進をサポートする。
- ・適切・的確な道路施設の維持修繕を実施することで、持続可能な都市機能を維持する。
- ・道路を強靱にすることで、気候変動及びその影響を軽減する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
小規模事業要望の実施率(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100			100		
実績値	90	90					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
中規模要望(高判定)の残件数(件)※平成30年度末時点における累積未実施分(土木部全体)							148
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	530	335	212	92	46		0
実績値	530	328					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
法定点検(H26~H30)の結果、判定区分Ⅲ以上の道路施設(橋梁等)の修繕率(%)							155
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		70	80	90	90	100	100
実績値	60	72					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 国交付金事業 [決算4,485,885千円(うち前年度繰越1,015,035千円)]
  - ・橋梁修繕数 N=27橋、トンネル修繕数 N=4箇所(修繕完了数)、舗装修繕延長 L=9.6km
- 市単独事業 [決算4,923,790千円(うち前年度繰越98,043千円)]
  - ・長寿命化計画による修繕 橋梁修繕数 N=24橋
  - ・道路の日常的な維持管理(道路パト、小破・舗装、清掃、除草)
  - ・道路パトロール、地元要望等による修繕(小規模要望、中規模要望)

・事業の成果と課題

指標の達成度

道路利用者の安全・安心の確保を図るため、道路維持修繕を実施している。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

道路利用者の安全・安心を図るため、適切なタイミングでの計画的な事業実施が必要である。特に舗装について、現状の損傷状況において修繕が追いついていない状況が見られている。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

道路利用者の安全・安心の確保、事業費の縮減を図るため、予防保全型維持管理への移行が必須であり、判定区分Ⅱ施設の修繕等、更なる事業費の確保が必要となる。

## 補助シート (事業名) 道路維持修繕事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
148	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施
155	道路構造物修繕率72% (348/482施設)	道路構造物修繕率80% (386/482施設)	道路構造物修繕率90% (433/482施設)	道路構造物修繕率 100% (482/482施設)

## 事業シート (事業名) 道路防災事業

### ◇事業目的・事業対象

異常気象時等による災害を未然に防ぐため、道路防災総点検、道路パトロール、地元要望等により、災害の危険性がある箇所について防災対策工事を実施し、道路利用者の安全・安心を確保するとともに、事前通行規制区間を解除し、道路利用者の利便性を図る。

### ◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.148,162】

- 国交付金事業(国土交通省所管の交付金事業及び補助事業として施行している道路防災事業)
  - ・道路防災総点検において、災害の危険性がある箇所について、防災対策工事を実施する。
  - ※三遠南信自動車道の浦川IC及び佐久間ICアクセス道路、並びに現道改良区間等を優先的に事業実施。
- 市単独事業(市単独事業として施行している道路防災事業)
  - ・道路パトロール、地元要望等において、災害の危険性がある箇所について、防災対策工事を実施する。
- 浜松市無電柱化推進計画策定
  - ・令和3年度、次期計画の策定に着手する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S27	—	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第42条	○	○	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,363,825	767,000				
	決算	1,439,457					
	国・県支出	496,595	167,500				
	市債	410,700	236,900				
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	532,162	362,600				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		4,900	8,400				
人工	正規	0.7	1.2				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.2,11.3,11.7,11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

### ・事業とゴールの関連性

- ・道路インフラの質を高めることで、持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進をサポートする。
- ・適切・的確な道路施設の防災能力を強化することで、持続可能な都市機能を維持する。
- ・道路施設を強靱にすることで、気候変動及びその影響を軽減する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
道路防災対策工事箇所数(事前通行規制解除予定区間内)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	10	10	3	5	5	5	5
実績値	10	10					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
中規模要望(高判定)の残件数(件)※平成30年度末時点における累積未実施分(土木部全体)							148
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	530	335	212	92	46		0
実績値	530	328					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
無電柱化推進率(%) ※整備延長 L=4.93Km							162
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	7	9	10	60	70	80	85
実績値	7	9					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 国交付金事業 [決算993,190千円(うち前年度繰越638,212千円)]
  - 防災対策工事 N=10箇所
- 市単独事業 [決算446,267千円(うち前年度繰越129,724千円)]
  - 防災対策工事 N=8箇所
- 「浜松市無電柱化推進計画(計画期間:R1~R3)」を策定

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

道路利用者の安全・安心の確保、並びに事前通行規制区間解除による道路利用者の利便性を図るため、防災対策工事を実施している。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

道路利用者の安全・安心の確保、並びに事前通行規制区間解除による道路利用者の利便性を図るため、最低限、現状の確保が必要である。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

道路利用者の安全・安心の確保、並びに事前通行規制区間解除による道路利用者の利便性を図るため、引き続き、道路防災対策工事等の鋭意推進に努める。また、平成29年8月に国から示された道路土工構造物点検要領に基づき、現行の維持管理ガイドラインを改定し、効率的かつ効果的な対策を行なっていく。

## 補助シート (事業名) 道路防災事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
148	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施	中規模要望事業の実施
162	無電柱化推進率9% (0.44/4.93km)	無電柱化推進率10% (0.49/4.93km)	無電柱化推進率60% (2.96/4.93km)	無電柱化推進率70% (3.45/4.93km)

# 事業シート (事業名) 橋りょう耐震補強事業

## ◇事業目的・事業対象

予想される南海トラフ地震など、大規模災害発生時の緊急輸送道路等を確保し、早期復旧と市民生活を守るため、橋梁の耐震補強対策工事等を計画的に実施する。

## ◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.161】

橋りょうの耐震性能の向上を図るため、耐震補強対策等を計画的に行う。

- ・国交付金事業(国土交通省所管の交付金事業として施行している橋りょう耐震補強事業)
- ・市単独事業(市単独事業として施行している橋りょう耐震補強事業)

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H8	—	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第42条	○	○	○

## ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	348,604	203,500				
	決算	585,001					
	国・県支出	271,028	121,800				
	市債	89,000	33,700				
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	224,973	48,000				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		10,500	9,100				
人工	正規	1.5	1.3				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

## ◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.2,11.3,11.7,11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

## ・事業とゴールの関連性

- ・橋梁の質を高めることで、持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進をサポートする。
- ・適切・的確な橋梁の耐震能力を強化することで、持続可能な都市機能を維持する。
- ・橋梁を強靱にすることで、気候変動及びその影響を軽減する。

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
緊急輸送路上の橋長15m以上の橋梁の耐震化率(%)					Ⅲ-1(1)イ		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100		
実績値	88	94					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
緊急輸送路等の重要道路上の橋梁の耐震化率(%) ※重要道路橋梁数:387橋							161
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	30%	31%	32%	32%	33%	33%	34%
実績値	30%	31%					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
緊急輸送路上の橋長15m以上等の橋梁の耐震化率(%) ※H31~新橋梁計画開始(計画橋梁数:161橋)					Ⅲ-1(1)ア		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		60.9%	62.1%	62.7%	64.0%	66.5%	70.8%
実績値	57.1%	60.9%					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 国交付金事業 [決算460,720千円(うち前年度繰越353,220千円)]
- 県補助事業 [決算29,366千円]
- 単独事業 [決算94,915千円(うち前年度繰越11,914千円)]

橋りょうの耐震性能の向上を図るため、耐震補強対策等を計画的に行う。

- ・平成20年度に策定した104橋の耐震補強を8橋(7橋完了)実施
- ・新たに位置付けた57橋について、早期の工事着手に向け、調査・設計を実施(2橋)

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

予想される南海トラフ地震など、大規模災害発生時の緊急輸送道路等を確保し、早期復旧と市民生活を守るため、橋梁の耐震補強対策工事等を計画的に実施している。  
 平成20年度策定計画の104橋の内、令和元年度計画進捗率104橋(H31.3報告時点目標値)に対し、実績進捗率98橋の状況。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

予想される南海トラフ地震など、大規模災害発生時の緊急輸送道路等を確保し、早期復旧と市民生活を守るため、最低限、現状の確保が必要である。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

予想される南海トラフ地震など、大規模災害発生時の緊急輸送道路等を確保し、早期復旧と市民生活を守るため、引き続き、橋梁の耐震補強対策工事等の鋭意推進に努める。

# 補助シート (事業名) 橋りょう耐震補強事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
161	耐震化橋梁数387橋 (121/387橋)	耐震化橋梁数387橋 (123/387橋)	耐震化橋梁数387橋 (124/387橋)	耐震化橋梁数387橋 (126/387橋)
〇〇				

令和2年度

(管理番号)  
03 04 01 01 002320000 06(担当課)  
道路保全課(責任者)  
池谷 一弘(基準日)  
令和 2 年 7 月 1 日**事業シート** (事業名) 道路維持推進事業

## ◇事業目的・事業対象

道路保全費に係る国庫補助事業の執行に要する事務費(登記手数料等)

## ◇事業の概要

国庫補助事業の執行にあたり必要な事務費を適正に執行する。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H28	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

## ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	2,200					
	決算	1,290					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	1,290					
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)							
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

## ◇SDGsとの関連

## ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

## ・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

国庫補助事業の執行にあたり必要な事務費を適正に執行した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

国庫補助事業の執行に伴い、必要な事務費を適正に執行することができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

令和2年度

(管理番号)  
03 04 01 01 002320000 07(担当課)  
道路保全課(責任者)  
池谷 一弘(基準日)  
令和 2 年 7 月 1 日**事業シート** (事業名) 過疎対策道路修繕事業

## ◇事業目的・事業対象

浜松市過疎地域自立促進計画に基づき、過疎地域の道路事業を推進し、道路の整備、維持管理における都市部との格差是正を図る。

## ◇事業の概要

施策事業、地元要望等において、道路整備、道路施設の修繕等の必要な箇所について、各種道路事業を実施する。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H28	—	一般会計	自治事務(法令義務)	過疎地域自立促進特別措置法	—	—	—

## ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	100,000	186,010				
	決算	100,063					
	国・県支出						
	市債	99,700	184,500				
	その他						
	一般財源	363	1,510				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)							
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

## ◇SDGsとの関連

## ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.2,11.3,11.7,11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

## ・事業とゴールの関連性

- ・道路インフラの質を高めることで、持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進をサポートする。
- ・適切・的確な道路施設の能力を強化することで、持続可能な都市機能を維持する。
- ・道路施設を強靱にすることで、気候変動及びその影響を軽減する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
事業路線数(路線)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	7	5	5	5	5	5	5
実績値	4	5					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

過疎対策道路修繕事業 単独事業 [決算100,063千円(うち前年度繰越20,656千円)]

舗装修繕 1件  
 法面对策 3件  
 道路整備 1件

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

過疎地域自立促進計画に基づき、過疎地域の道路事業を推進し、道路の整備、維持管理における都市部との格差是正を図る。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

過疎地域自立促進計画に基づき、過疎地域の道路事業を推進し、道路の整備、維持管理における都市部との格差是正を図るため、最低限、現状の確保が必要である。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

引き続き過疎地域の道路事業を推進し、道路の整備、維持管理における都市部との格差是正を図る。

令和2年度

(管理番号)  
03 04 01 01 002320000 08

(担当課)  
道路保全課

(責任者)  
池谷 一弘

(基準日)  
令和 2 年 7 月 1 日

## 事業シート (事業名) 自転車等対策事業

### ◇事業目的・事業対象

JR浜松駅周辺地区や市街地中心部における自転車等の放置防止により、良好な歩行空間の確保と駐車場の効率的な利用促進を図ることで安全で快適な都市環境を確保する。

### ◇事業の概要

【法令受託】JR浜松駅周辺地区及び市街地中心部を放置禁止区域(24ha)・放置規制区域(28ha)と定めて、区域内の歩道上等に放置された自転車等の警告・撤去を行う。※放置禁止区域:直ちに撤去、放置規制区域:2日後撤去

【法令受託】各自転車等駐車場に長期間放置された自転車等の指導・警告・撤去及び維持管理を行う。

【自治事務】浜松駅周辺を中心とした自転車等駐車場の管理水準向上のための施設機能の強化を図るとともに、民間活用を踏まえた最適な管理方法を検討する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H6	-	一般会計	法定受託事務 自治事務(その他)		-	-	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	58,277	60,576				
	決算	95,768					
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,882	1,744				
	一般財源	93,886	58,832				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		11,200	3,500				
人工	正規	1.6	0.5				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.2,11.3,11.7,11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

・適切・的確、かつ安全な都市空間を確保することで、持続可能な都市機能を維持する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
駐輪場の収容台数(台)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	3200	3200	3200	3200	3200	3200	4100
実績値	3200	3200					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
自転車等盗難件数(台)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	90	90	90	90	90	70	50
実績値	144	※8月警察集計					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

○自転車等対策事業 [決算95,768千円(うち前年度繰越49,025千円)]  
 【法令受託】JR浜松駅周辺地区及び市街地中心部を放置禁止区域(24ha)・放置規制区域(28ha)と定めて、区域内の歩道上等に放置された自転車等の警告・撤去を行った。※放置禁止区域:直ちに撤去、放置規制区域:2日後撤去  
 【法令受託】各自転車等駐車場に長期間放置された自転車等の指導・警告・撤去及び維持管理を行った。  
 【自治事務】浜松駅周辺を中心とした自転車等駐車場の管理水準向上のための施設機能の強化を図るとともに、民間活用を踏まえた最適な管理方法を検討した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

平成28年度の楽器博物館東自動二輪車駐車場(約40台分)及び新浜松駅南自転車駐車場(約100台)の新設が完了し、引き続き再整備に向け取り組んでいく。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・『浜松駅周辺自転車等駐車場再整備計画』策定のため、有識者から意見を聴取する自転車等駐車対策検討会を平成29年度に立ち上げ、これまで4回実施した。
- ・平成30年度から進めてきた『浜松駅周辺自転車等駐車場再整備計画』について、令和元年度秋に副市長レビューに裁量し、「駐輪場の再整備計画と併せ、JR浜松駅周辺の自動二輪車駐車場の再整備も併せて実施する旨の指導があった。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・浜松駅周辺の放置自転車対策並びに自転車等駐車場の管理水準の向上と受益者負担の観点から、有料化も視野に入れた既存駐輪施設の改良(質・量)など官民連携による新設・維持・管理方針の検討を含めた「浜松駅周辺自転車等駐車場再整備計画」に基づく事業を推進する。併せて必要な条例改正も検討していく。
- ・管理水準の向上(有料化)について、庁内や関係機関との合意形成を進め、適切な導入方法について分析・検討していく。

## 事業シート (事業名) 地籍調査事業

### ◇事業目的・事業対象

地籍調査事業では一筆ごとの土地について、所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、その結果を地図(地籍図)及び簿冊(地籍簿)に作成し、地籍の明確化を図る。

### ◇事業の概要

事業は1地区概ね4年で完了するよう進めており、着手から完了までは以下のような工程に分かれる。

- ・国家基準点を基に調査区域付近に基準点を設置・測量する(C/D工程)。
- ・調査地区の土地登記簿、公図等を調査し、資料を作成する(E1工程)。
- ・土地所有者に境界立会い(確認)を行ってもらう(E2工程)。
- ・基準点を基に一筆ごとの境界の測量を行い、土地の境界を示す図面を作成する(F工程)。
- ・一筆ごとの面積を計算する(G工程)。
- ・調査の成果(地籍図及び地籍簿)を閲覧に供し、承諾を得る(H工程)。
- ・国の承認及び県の認証を受けた後、成果の写しを法務局へ送付する。
- ・中区野口町・船越町・新津町の閲覧・認証の実施。
- ・北区引佐町伊平No. 2の図面作成・一筆地測量の実施。
- ・市内全域の成果の修正業務。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S28	-	一般会計	自治事務	国土調査法,国土調査促進特別措置法	-	-	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	20,022	14,533				
	決算	18,708					
	国・県支出	7,947	7,149				
	市債						
	その他	43	39				
	一般財源 一般会計繰入金	10,718	7,345				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		47,000	20,300				
人工	正規	5.4	2.1				
	再任用(h31)	1.0					
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	2.0				

### ◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.2,11.3,11.7,11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

・適切・的確な都市のエリアを確保することで、持続可能な都市機能を維持する。

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
換算面積指数 (ha) 市地籍調査事業計画より (H27~H36で186ha)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	140	150	160	170	180	186
実績値	134	139					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 事業は1地区概ね4年で完了するよう進めており、着手から完了までは以下のような工程に分かれる。
- ・国家基準点を基に調査区域付近に基準点を設置・測量する (C/D工程)。
  - ・調査地区の土地登記簿、公図等を調査し、資料を作成する (E1工程)。
  - ・土地所有者に境界立会い (確認) を行ってもらう (E2工程)。
  - ・基準点を基に一筆ごとの境界の測量を行い、土地の境界を示す図面を作成する (F工程)。
  - ・一筆ごとの面積を計算する (G工程)。
  - ・調査の成果 (地籍図及び地籍簿) を閲覧に供し、承諾を得る (H工程)。
  - ・国の承認及び県の認証を受けた後、成果の写しを法務局へ送付する。
  - ・中区野口町船越町新津町の図面作成・一筆地測量を実施した。
  - ・中区船越町の概況調査を実施した。
  - ・北区引佐町伊平No.2の境界立会いを実施した。
  - ・市内全域の過去の成果の修正業務を行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・令和元年度は、中区野口町新津町船越町と北区引佐町伊平を補助要望した。
- ・中区野口町・新津町・船越町 (0.08km<sup>2</sup>) の図面作成・一筆地測量を実施した。
- ・北区引佐町伊平No.2 (0.12km<sup>2</sup>) の境界立会いを実施した。
- ・中区船越町 (0.09km<sup>2</sup>) の概況調査を実施した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・補助事業と並行して、過去に調査を行ったものの地権者の協力が得られず境界確定が出来なかった地区についても再調査し、閲覧、認証請求後法務局に順次送付していく。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・法改正により、今まで市職員が担当していた工程管理や検査も含めて作業を一括して法人に委託することが可能となったため、平成28年度から北区引佐町伊平地区において、国土調査法第10条第2項の委託を取り入れ、中区野口町・新津町・船越町においても国土調査法第10条第2項の委託を取り入れた。国土調査法第10条第2項の委託により市職員の作業量が軽減され、補助対象地区以外の調査に力を注ぐことが出来る。

## 事業シート (事業名) 道路保全運営経費(一般諸経費のみ)

### ◇事業目的・事業対象

適正な道路管理を推進するための運営経費

### ◇事業の概要

適正な道路管理を推進するための一般事務に係る経費

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
-	-	一般会計			-	-	-

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	9,632	6,378				
	決算	8,568					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	8,568	6,378				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		19,600	19,640				
人工	正規	2.8	2.6				
	再任用(h31)		0.4				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

# 政策シート

(政策名) 効率的な道路・河川管理  
(予算費目名) 河川費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

## ◆基本政策 安全な生活基盤づくり

### ◇政策の概要

・安全で安心して生活できるよう河川が適正に管理され、災害のない都市を実現する。  
(河川・排水路の管理・維持、土木防災情報の収集・発信)

### ◇関連するSDGsのゴール

①都市	③気候変動								
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

### ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	1,406,330	1,220,784				
決算	1,327,790					
人件費(A)	32,340	34,720				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,360,130	1,255,504				

### ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
中規模要望(高判定)の残件数(件) (土木部全体)	件	目標	335	212	92	46	0	0
		実績	328					
河川管理延長に対する河川点検巡視の実施 延長割合	%	目標	41	60	77	100	100	100
		実績	41					
ポンプ場長寿命化(対象1箇所)		目標	3期工事	4期工事	5期工事	維持管理	維持管理	維持管理
		実績	完了					

### ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

・安全で安心して生活できるよう道路や河川が適正に管理され、災害のない都市を実現する。  
(河川・排水路の管理・維持、土木防災情報の取得・発信)

### ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- ・中規模要望を202件実施した。
- ・ポンプ場長寿命化工事(3期)を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	河川管理対策事業	○	○	○		541,778	516,158	3.5			0.4
2	河川維持修繕事業	○	○	○		713,726	704,626	1.3			
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						1,255,504	1,220,784	4.8			0.4

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 河川管理対策事業

### ◇事業目的・事業対象

水害や土砂災害などの被害を軽減するために、河川・排水路施設の管理を行うとともに、防災情報を収集し、市民への防災情報の発信に努める。

### ◇事業の概要

- ◆ポンプ場等維持管理事業
  - ・雨水排水ポンプの日常管理と出水時の運転、ポンプ場の長寿命化工事
- ◆河川愛護支援事業
  - ・市民団体等が行う河川清掃・除草などの愛護活動への支援
- ◆土木防災情報システム運営事業
  - ・雨量・水位・気象情報と河川カメラ映像等の土木防災情報を収集し、事前に防災対策を図りるとともに、市民へ防災情報を発信して避難行動を促す

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
		一般会計	自治事務	河川法	○	○	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	486,580	516,158				
	決算	479,188					
	国・県支出	6,704	6,571				
	市債						
	その他						
	一般財源	472,484	509,587				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		23,240	25,620				
人工	正規	3.2	3.5				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.3	0.4				

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.5、11.b
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

・気候変動に伴い頻発する大型台風や豪雨による浸水等の被害を防止、または軽減する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
ポンプ場長寿命化 (対象1箇所)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	2期工事	3期工事	4期工事	5期工事	維持管理	維持管理	維持管理
実績値	完了	完了					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

<p>◆ポンプ場等維持管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水排水ポンプの日常管理と出水時の運転、ポンプ場の長寿命化工事</li> </ul> <p>◆河川愛護支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民団体等が行う河川清掃・除草などの愛護活動への支援</li> </ul> <p>◆土木防災情報システム運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨量・水位・気象情報と河川カメラ映像等の土木防災情報を常に取得し、事前に防災対策を図るとともに市民へ発信して避難行動を促進</li> </ul>
---

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="text" value="計画通り"/></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプ場長寿命化工事(3期)を行った。</li> </ul>
---

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

計画通り、長寿命化を行う。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

ポンプ場長寿命化をR3年度に完了する。

令和2年度

(管理番号)  
03 04 01 02 002331000 01

(担当課)  
河川課

(責任者)  
野末 昇

(基準日)  
令和 2 年 7 月 1 日

## 補助シート (事業名) 河川管理対策事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
—	ポンプ場長寿命化3期 工事	ポンプ場長寿命化4期 工事	ポンプ場長寿命化(5期 工事) 長寿命化完了	維持管理
—				

令和2年度

(管理番号)  
03 04 01 02 002331000 02

(担当課)  
河川課

(責任者)  
野末 昇

(基準日)  
令和 2 年 7 月 1 日

## 事業シート (事業名) 河川維持修繕事業

### ◇事業目的・事業対象

水害や土砂災害などの被害を軽減するために、河川・排水路の機能の維持・修繕工事を実施する。

### ◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.148、156】

- ◆河川・排水路維持修繕事業  
・河川施設(堤防・護岸・樋門等)の点検、維持・修繕工事の実施。
- ◆安全保護柵設置・修繕事業  
・河川堤防安全保護柵の設置・修繕工事の実施。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
		一般会計	自治事務	河川法	○	○	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	919,750	704,626				
	決算	848,602					
	国・県支出						
	市債	48,900	143,000				
	その他						
	一般財源	799,702	561,626				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		9,100	9,100				
人工	正規	1.3	1.3				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	○ 11.5、11.b
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	○ 13.1
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

・気候変動に伴い頻発する大型台風や豪雨による浸水等の被害を防止、または軽減する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
中規模要望(高判定)の残件数(件)※平成30年度末時点における累積未実施分(土木部全体)							148
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	530	335	212	92	46	0	0
実績値	530	328					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
河川管理延長に対する河川点検巡視の実施延長割合(%)					-		156
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	20	41	60	77	100	100	100
実績値	20	41					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
主要河川の維持管理					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	計画検討	計画検討	計画策定	計画実施	計画実施	計画実施	計画実施
実績値	計画検討	計画検討					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ◆河川・排水路維持修繕事業
- ・河川施設(堤防・護岸・樋門等)の点検、維持・修繕工事の実施。

◆安全保護柵設置・修繕事業

- ・河川堤防安全保護柵の設置・修繕工事の実施。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・中規模要望を202件実施した。
- ・河川の点検巡視を41%実施した。
- ・河川の維持管理計画について検討した。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・河川点検に関わる職員(正規1.0、非常勤1.0)を追加した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・河川管理延長を計画的に河川点検巡視できるように人員を確保する。

## 補助シート (事業名) 河川維持修繕事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
148	中規模要望(高判定)の 残件数 335件	中規模要望(高判定)の 残件数 212件	中規模要望(高判定)の 残件数 92件	中規模要望(高判定)の 残件数 46件
156	河川点検巡視 実施延長106.023km 割合41%  ※二級河川16.620kmは 毎年実施	河川点検巡視 実施延長154.626km 割合60%  ※二級河川16.620kmは 毎年実施	河川点検巡視 実施延長198.482km 割合77%  ※二級河川16.620kmは 毎年実施	河川点検巡視 実施延長257.496km 割合100%  ※二級河川16.620kmは 毎年実施

## 政策シート

(政策名) 効率的な道路・河川管理

(予算費目名) 河川管理費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

## ◆基本政策 安全な生活基盤づくり

## ◇政策の概要

安全で安心して生活できるよう道路や河川が適正に管理され、災害のない都市を実現する。

## ◇関連するSDGsのゴール

①都市									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	41,854	41,583				
決算	39,237					
人件費(A)	2,940	11,760				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	42,177	53,343				

## ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

## ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

安全で安心して生活できるよう道路や河川が適正に管理され、災害のない都市を実現する。

## ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	
------	--

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	河川管理事業				○	53,343	41,583	1.6			0.2
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						53,343	41,583	1.6			0.2

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

令和2年度

(管理番号)  
03 04 01 03 002320000 01(担当課)  
道路保全課(責任者)  
池谷 一弘(基準日)  
令和 2 年 7 月 1 日**事業シート** (事業名) 河川管理事業

## ◇事業目的・事業対象

安全で安心して生活できるよう、河川法令に基づき適正に管理する。

## ◇事業の概要

【法定受託】占有許可物件の登録・更新や占有料の納付状況の管理を行う。  
 【法定受託】浜名湖における不法係留船対策を行う。  
 【法定受託】河川の設置又は管理瑕疵に起因する事故が発生した際の損害賠償金支払いに関する業務を行う。  
 【法定受託】前年度に実施した工事に伴う河川台帳の経年変化修正業務を行う。  
 【自治事務】河川一般平面図未整備地域の整備を行う。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S63	-	一般会計	法定受託事務 自治事務(その他)	河川法・浜松市普通河川条例	-	-	○

## ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	41,854	41,583				
	決算	39,237					
	国・県支出						
	市債						
	その他	31	23				
	一般財源 一般会計繰入金	39,206	41,560				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		2,940	11,760				
人工	正規	0.3	1.6				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.3	0.2				

## ◇SDGsとの関連

## ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

## ・事業とゴールの関連性

安全・安心かつ適切に河川を管理することで、持続可能な都市を実現する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【法定受託】占用許可物件の登録・更新や占用料の納付状況の管理を行った。  
 【法定受託】浜名湖における不法係留船対策を行った。  
 【法定受託】河川の設置又は管理瑕疵に起因する事故が発生した際の損害賠償金支払いに関する業務を行った。  
 【法定受託】前年度に実施した工事に伴う河川台帳の経年変化修正業務を行った。  
 【自治事務】河川一般平面図未整備地域の整備を行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

平成30年度から土木部内の管理業務の一元化に向け、河川管理業務を道路保全課に移管する。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

将来的に土木部本庁組織を整備、管理、防災の各業務で再構築していく。